

## (短報) 小型汽船底びき網漁場の海底水温観測手法の開発

蛭 名 政 仁

### Development of the method to observe the water temperature of the fishing ground for small troll vessels.

Masahito Ebina

#### はじめに

小型汽船底びき網漁業で漁獲される底魚類の盛漁期は、魚種ごとに異なる。これは、漁獲対象魚が産卵や摂餌のための回遊や、成長段階に応じて最適な環境を求めて生息場所を変化させていることによると考えられる。

これらの盛漁期の形成には、海底付近の水温の値が大きく影響しているものと考えられることから、自記式水温・深度計を底びき網に取り付け、海底水温を連続して観測することによって、当海域での海洋特性の把握と、漁業生産との関係を明らかにすることを目的に海底水温観測手法の開発を行った。

#### 調査方法

2001年6月から本県太平洋海域を操業する小型汽船底びき網漁業（手繰り第4種）の全操業船（10隻）の底びき網に自記式水温・深度計（ベムコ社製データロガー、MINILOG TDR 1000PSI）を取り付けて海底水温の観測を開始し、現在も継続中である。（図1）

自記式水温・深度計は、8分間隔で水温と深度を観測するように設定した。この設定では、約34日間の連続観測が可能なることから、概ね一ヶ月間隔で操業船から水温計を取り外し、データの回収等を行っている。

観測地点は、同時に実施中の標本船日誌から得

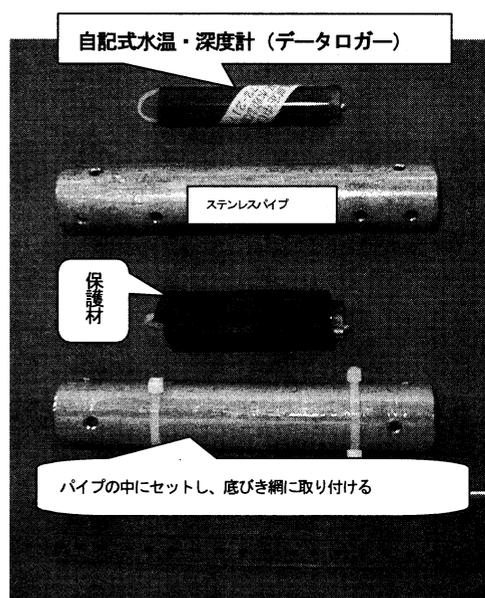


図1 自記式水温・深度計の設置方法

表1 海底水温等の観測状況

年月	観測されたデータ件数		底びき網 操業回数	備考
	海底水温	中層水温		
2001年 6月	1,316	2,632	1,385	
7月	—	—	—	禁漁期間
8月	—	—	—	禁漁期間
9月	885	1,636	972	
10月	1,194	2,508	1,284	
11月	1,307	2,600	1,468	
12月	1,205	2,651	1,339	
2002年 1月	996	2,152	1,107	
2月	1,460	2,745	1,505	
3月	917	2,201	1,019	
4月	1,197	2,514	1,287	
5月	1,070	2,460	1,337	
6月	909	1,910	1,299	
7月	—	—	—	禁漁期間
8月	—	—	—	禁漁期間
小計	12,455	26,007	14,002	

られた海区番号（緯度経度を5分升目に区切ったもの）により特定している。

### 観測したデータの内容

これまでに観測したデータ件数を表-1に示した。

海底水温は底びき網が海底を曳網時のデータであり、また、中層水温は底びき網を投網後、海底に着底するまでの間、及び揚網時に海底から離れ船上に収容されるまでの間の海中で観測されたデータである。